

## VI. ごみ処理施設

### 1. 処理場の経過

昭和38年2月地方自治法第284条に基づき一部事務組合(泉大津市和泉市清掃組合)を発足し、両市のごみ及びし尿の共同処理を行ってきましたが、昭和41年5月に隣接する高石市の加入に伴い、構成三市の広域的下水道処理を含めた一部事務組合「泉北環境整備施設組合」と改称しました。

平成16年4月には同組合の管理棟が完成し、事務局を現在の所在地へ移転させ、元の建物を現在の名称である「泉北クリーンセンター」に改称しました。

なお、平成28年3月には同組合の資源化センターにあたる「エコトピア泉北」が完成し、現在は構成三市のごみ処理及び再資源化を行っています。

### 2. 構成三市の人口及び面積(令和2年3月31日現在)

市名	人口	世帯数	面積
泉大津市	74,421人	34,600戸	13.62k㎡
和泉市	185,790人	79,885戸	84.98k㎡
高石市	57,617人	25,823戸	11.35k㎡
合計	317,828人	140,308戸	109.95k㎡

### 3. 泉北環境整備施設組合事業所の施設名、住所及び連絡先

〒594-0001

泉北クリーンセンター：和泉市舞町87番地

TEL 0725-41-2030

FAX 0725-41-2115

〒594-0001

エコトピア泉北：和泉市舞町87番地

TEL 072-273-3331

FAX 072-273-3332

〒594-1154

最終処分場：和泉市松尾寺町1876番地

TEL 0725-54-2474

〒592-0013

事務局：高石市取石6丁目9番40号

TEL 0725-46-0150

FAX 0725-46-0800

#### 4. 処理施設の概要

区分	ごみ焼却施設		粗大ごみ 処理施設	ごみ 焼却施設	資源化 センター
	1号炉	2号炉		5号炉	
都市計画 面積	42,407.38 m <sup>2</sup>				
延床面積	25,967.08 m <sup>2</sup>			8,897.39 m <sup>2</sup>	3,182.13 m <sup>2</sup>
工事	着工	平成 11 年 8 月		昭和 63 年 6 月	平成 26 年 10 月
	竣工	平成 15 年 3 月		平成 3 年 3 月	平成 28 年 3 月
処理方法	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式)		併用設備 (備考)	全連続燃焼式炉	磁選機付 手選別
処理能力	150t/24h	150t/24h	40t/5h	150t/24h	25t/5h
建設費 (千円)	20,370,000		1,890,000	4,300,000	1,339,148
設計 ・ 施工	(株)タクマ				設計 (株)環境技術研究所 建築施工 (株)福田組 機材施工 極東開発工業(株)
備考	※排ガス処理設備 2段バグフィルター×2基 (1段)51,000 m <sup>3</sup> /h ろ布 414 本 (2段)54,000 m <sup>3</sup> /h ろ布 546 本  ※発電設備 出力 9,300kw 単気筒横置多段衝動式タービン ※余熱利用設備 循環水温 45t/h(サン燦 <sup>o</sup> -ル) ※集合煙突(1・2・5号炉) 高さ 89m ※ごみピット容量 8,333 m <sup>3</sup> ※緑地緩衝帯 7,263.79 m <sup>2</sup>		※不燃粗大ごみ処理設備 高速衝撃剪断回転式 22 t / 5 h  ※可燃粗大ごみ処理設備 低速 2 軸回転式 18 t / 5 h	※排ガス処理設備 電気集塵機→ 湿式戦場装置→ バグフィルター装置  ※ごみピット 容量 4,600 m <sup>3</sup>	処理能力 25 t / 5 h  缶/ビンライン 17 t / 5 h  プラ容器ライン 8 t / 5 h

#### 5. 最終処分場

名 称	敷地面積	処 理 方 法	処 理 能 力	設計・施工・工事
松 尾 寺 山 最 終 処 分 場	48,471 m <sup>2</sup>	準好気性埋立	410,430 m <sup>3</sup>	設計：日本環境工学設計事務所 施工：前田建設工業(株) 工事着工：平成 3 年 12 月 工事竣工：平成 5 年 3 月